

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告 (案)

《 公益事業 》

安部榮四郎記念館では、記念館展示室で行う展示活動、手すき和紙伝習所で行う紙すき体験および館内外で行うイベントを含む和紙普及活動（ワークショップ）、研究活動を主な公益事業として実施している。令和 3 年度においては次のように実施した。

令和 2 年度に続き令和 3 年度も新型コロナウイルス感染が続いたため、国や地域の基準に合わせ、来館者へのマスク着用のお願ひ。手の消毒の推奨。売店や受付に飛沫感染防止のためのシールドの設置。密集、密接を避けるための記念館内への入場制限（40 名）。紙漉き体験をする手漉き和紙伝習所への入場制限（15 名）等を行った。

なお体温計は設置せず来館者名簿も作っていないが、個人の紙漉き、団体に対しては連絡先を必ず記入する措置を常時行った。

1. 展示活動について

① 常設展示 「安部榮四郎の軌跡と民芸作家作品展」

昨年度に引き続き展示は常設のみで行った。

昭和初期から民芸運動を縁に松江を訪れていた柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、棟方志功等の作品を展示した。

展示の説明や展示品のキャプションを海外の方にも分かりやすく英語・フランス語で表記し、展示の説明文に関しては冊子を用意した。

展示期間： 令和 3 年 4 月～令和 4 年現在

2. 和紙普及活動

① 手すき和紙伝習所において

・紙漉き体験の受入れ

予約制で一人から学校、団体まで受入れ、人数と時間によって紙漉き内容を変え対応した。例年通り八雲町内の幼保園、保育園、小学校、中学校ならびに八雲町外の保育園、幼稚園等が卒業証書を漉きに来館した。

コロナのため実施が取りやめとなった県外への修学旅行のかわりに、近隣の高等学校の遠足、小・中学校の修学旅行などが来館し体験学習を行った。

引き続きコロナ禍の中、学校行事に組み入れた体験学習が期待できる。

② ワークショップ、「紙樂塾」（しがくじゅく）の開催

一般参加の和紙工芸体験を開催。ロビーにおける少人数のワークショップを開催した。手すき和紙伝習所で和紙の普及活動として必ず紙漉き体験を実施し、大型和紙の製作や手提げライト作りや夏休みに和紙を使った額絵作りのワークショップを 8 回開催した。

商品開発として「まこも」を漉きこんだインソール製作に協力した。

形を変えた漉き道具の開発を行った。

また、八雲塾「紙ってどうして出来るの？三極皮はぎから紙すきまで」（第 32 回）を 2 月 5 日に開催した。令和 3 年度は一般の参加者により開催した。10 名参加。

ワークショップ開催及び商品開発内容、参加者数は以下のとおりである。

期間 令和 3 年 6 月 10 日から令和 4 年 3 月 30 日

場所 安部榮四郎記念館・手漉き和紙伝習所

参加人数 35 名

○紙漉き体験を含むワークショップの開催

- ・ 6 月 25 日 「三角染め体験とうちわ作り」（講師：安部己図枝）
- ・ 7 月 25 日 「大型枠で和紙製作」（紙漉き指導：安部紀正）
- ・ 7 月 25 日 「折紙でランプ製作」（講師：門脇志保）
- ・ 8 月 12 日 「手提げランプ製作」（講師：門脇志保）
- ・ 10 月 26 日 「紙漉き体験とちぎり絵体験」

（紙漉き指導：安部紀正 講師：野津智恵子）

- ・12月8日 「雁皮紙・紙漉き体験と顔料で描くお守り作り」
(紙漉き指導：安部紀正 講師：野津智恵子)
- ・12月16日 「和紙でツリー作り」(講師：門脇志保)
- ・2月14日 「雁皮紙・紙漉き体験と顔料で描くお守り作り」
(紙漉き指導：安部紀正 講師：野津智恵子)

○商品開発について

和紙に「まこも」をいれて靴の下敷き(インソール)を作りたいとの申し入れがあり伝習所において試作品作りに協力した。

これまでののはがきサイズ、A4サイズの和紙だけでなく、メッセージカードのかたちを勾玉にして、封筒とセットで作ることが出来るような試作品の作成を行った。

開催日：1月14日、2月14日 紙漉き指導：安部紀正

○安部榮四郎記念館広報用パンフレット等の製作

出雲民芸紙工房と安部榮四郎記念館のホームページが簡単にスマートフォンで閲覧できるようQRコードのシールを作成し、入館チケットやパンフレット等に貼りつけ来館者等にわたした。

記念館の海外来館者に配布する絵本の英語のパンフレットを制作した。

③ 和紙を未来へ繋ぐ事業実行委員会の事業について

本事業は、複数の団体と実行委員会を作り記念館が事務局となって事業を行った。

令和2年から3年計画で実施。文化庁の博物館に対する事業支援：地域と共働した博物館創造活動支援事業に応募した。令和3年度は申請内容が全国5位で通過し、優良事例集として取り上げられた。

活動は以下のとおりである。(詳しくは報告書参照)

活動の詳細は出雲民芸紙工房や記念館ホームページ、チラシQRコードの読み取りででき、どこからでも閲覧できるようにした。

(1) 原料栽培と体験・和紙開発

目的は今後国内産の原料が不足していくことに対し危機感があり、栽培の方法を確立し和紙の継続に寄与する。また体験プログラムにおける手漉き和紙の良さは紙漉きだけでは伝わらないので、暮らしに役立つ障子張り、願いを込めてだるま作り、漉いた紙に墨で描く等体験を行った。

島根県浜田市の国の重要無形文化財石州半紙技術者会の協力が出雲民芸紙とコラボした企画は講演会と漉き比べをライブ配信した。この事業で雁皮紙の製作工程を紙漉きまですべて体験した。

- ・八雲町元紙漉き職人・安部喜久男氏の耕作地の一部を借りトコロアオイを栽培
- ・三椏の試験栽培：挿し木・種の採取・苗木の植樹
- ・体験プログラムの実施(チラシ参照)ここで言う体験は和紙を作る過程としてレシピ本に掲載する。

(2) 技術記録とレシピ本作成

近い将来手漉き和紙が無くなるのではないかという危機感から、今出来る記録の方法で和紙を制作することをレシピとして後世へ伝えるために行っている。栽培も含め(1)で行うことはレシピ本に書き残す。

- ・雁皮の分布調査及び高齢者からの聞き取り調査の実施(加茂町)。
- ・出雲民芸紙の漉く技術は安部榮四郎が原料の特徴を出せるよう独自に開発したもので、その技術を記録するため使用する道具類や漉く時の動作などを記録した。
- ・実行委員会の構成メンバーである松江工業高等専門学校の片山優准教授と学生により山野孝弘氏を被験者とし技術をデータ化した。

(3) 全国手漉き和紙生産者アンケート調査の実施と集計値速報

今回2回目の調査は手漉き和紙に絞り、紙漉き用具生産者と連携しお互いを結びつける役割もある。生産者221名にアンケートを実施、187軒の手漉き和紙生産者を把握できた。

3. 安部榮四郎記念館収蔵品の貸し出しについて

①「民芸の100年」

主催：東京国立近代美術館

展示期間：令和3年10月26日～令和4年2月13日

柳宗悦没後60年記念展「民芸の100年」に柳宗悦のデザインしたレターセット等を貸し出した。

《 収益事業 》

記念館ロビーにおいて引き続き出雲民芸紙の販売を行った。令和2年度と比較し入館者は増加したが、観光客の来館が伸びなかったため売り上げを伸ばすことは出来なかった。

しゅんこう商事からの借地料金は予定通り入金された。

「民芸100年」の企画に対して収蔵品の貸し出しをおこないNHKより謝礼を受け取った。

《 法人事業 》

1. 理事会

・令和3年6月8日開催

議題 令和2年度事業報告の承認の件、令和2年度決算書類の承認の件、任期満了に伴う評議員、役員（理事、監事）候補者の件、定時評議員会の日時及び場所並びに目的の件

・令和3年6月11日書面開催

議題 令和3年6月8日開催の理事会において次期評議員候補者として理事会より評議員会に対して推薦することを決定していた矢野初二氏の急死に伴い、森山信雄氏を次期評議員候補者に変更すること

・令和3年6月26日書面開催

議題 代表理事（理事長）を安部信一郎、業務執行理事（館長）を安部紀正にそれぞれ選任すること。

・令和4年3月8日開催

議題 令和3年度収支補正予算案の承認の件、令和4年度事業計画案承認の件、令和4年度収支予算案承認の件、定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

2. 評議員会

・令和3年6月26日書面開催

議題 令和2年度事業報告の承認の件、令和2年度決算書類の承認の件、任期満了に伴う評議員の選任の件、任期満了に伴う役員（理事、監事）の選任の件

・令和4年3月23日書面開催

議題 令和3年度収支補正予算の報告の件、令和4年度事業計画の報告の件、令和4年度収支予算の報告の件

3. 監査

令和3年6月2日 記念館において長澤、長島両監事により監査が行われた。

4. その他

・任期満了にともない評議員、役員（理事、監事）の改選を実施した。

・令和3年度に予定されていた県の監査はコロナのため中止となった。

・これまで長崎県に本社を置く企業に記念館公式ホームページの運営をお願いしていたが、利便性を向上させるために松江市内の企業（松陽印刷）にホームページのリニューアルをお願いし実施した。移行期間を経て令和4年度に記念館公式ホームページの移行を行う。

・一時支援金、月次支援金、~~家賃支援給付金~~、事業継続支援給付金の交付を受けた。

入館者

	有 料								無料		
	個人料金入館者数				割引料金入館者数						小計
月日	大人	大高生	中小生	計	大人	大高生	中小生	計			合計
4月計	22	2	0	24	4	0	0	2	22	15	37
5月計	15	1	0	16	7	0	1	8	24	14	38
6月計	26	0	15	41	0	60	0	60	101	49	150
7月計	33	1	20	54	7	42	2	51	105	41	146
8月計	16	1	10	27	3	0	0	3	30	23	53
9月計	13	0	0	13	8	5	42	55	68	40	108
10月計	18	0	0	18	17	2	106	125	143	98	241
11月計	23	4	1	28	40	0	139	179	207	265	472
12月計	16	0	0	16	29	0	152	181	197	19	216
1月計	9	1	0	10	2	0	0	2	12	9	21
2月計	7	18	2	27	15	0	0	15	42	50	94
3月計	40	0	2	42	16	0	2	18	60	21	81
合計	238	28	50	316	148	109	444	699	1011	644	1657
2020 合計	269	38	11	318	88	188	144	420	738	629	1367

体験教室参加者数

	有 料				無料	合計
	大人	大高生	中小生	幼児		
4月	3	2	0	0	0	5
5月	7	0	1	1	9	18
6月	20	60	30	0	19	129
7月	30	43	21	16	12	122
8月	3	1	52	16	0	72
9月	2	5	42	0	2	51
10月	2	0	106	32	48	188
11月	21	0	102	71	32	226
12月	23	0	152	1	19	195
1月	2	0	0	0	6	8
2月	3	4	2	8	11	28
3月	24	0	12	0	10	46
合計	140	115	520	145	168	1088
2021 年度	147	213	177	153	189	879

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現 金 預 金	手元保管		運転資金として	64,469
現 金 預 金	島根県農協／八雲支店		運転資金として	96,925
普 通 預 金	山陰合同銀行／古志原支店		運転資金として	67,575
	八雲郵便局		運転資金として	44,667
	振替口座①		運転資金として	17,404
	振替口座②		運転資金として	1,924
	山陰合同銀行／八雲代理店			-
定 期 預 金	山陰合同銀行／八雲			4,007,213
前 払 金	国債額面価額超過額未経過分			-
流 動 資 産 合 計				4,300,177
2 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
土 地	設立者寄付土地（記念館敷地）	1191.07 m ²	公益目的保有で、記念館敷地使用	3,823,307
所 蔵 品	設立者寄付所蔵品	817 点	公益目的保有で、展示事業に使用	157,048,500
定 期 預 金	合銀／八雲支店			30,000,000
基 本 財 産 合 計				190,871,807
(2) そ の 他 固 定 資 産				
建 物	記念館	434.08 m ²	公益目的保有で、1階に売店あり	89,203,856
	伝習所	77.53 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	5,680,000
	伝習所	17.57 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	4,200,000
構 築 物	庭園、塀、舗装路面、防壁			7,263,126
什 器 備 品	応接セット、書棚、陳列台ほか			5,109,320
建 物 付 属 設 備	電気、災害報知、給排水設備			9,809,999
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	手漉き和紙伝習設備		公益目的保有で、体験教室使用	890,000
減 価 償 却 累 計 額	減価償却累計額			△100,592,703
電 話 加 入 権	電話加入権			81,140
そ の 他 固 定 資 産 合 計				21,644,738
固 定 資 産 合 計				212,516,545
資 産 合 計				216,816,722
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
前 受 金	株式会社 前受賃貸料			8,000,000
預 り 金	源泉所得税		4年1～3月分	4,920
	社会保険料		4年3月分	20,342
売 店 預 り 金	受託販売			263,877
流 動 負 債 合 計				8,289,139
負 債 合 計				8,289,139
正 味 財 産				208,527,583

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	64,469	60,421	4,048
預 金	4,235,708	6,319,165	△2,083,457
前 払 金	0	25,600	△25,600
仮 払 金	0	85,878	△85,878
流 動 資 産 合 計	4,300,177	6,491,064	△2,190,887
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
土 地	3,823,307	3,823,307	0
利 付 国 債	0	20,000,000	△20,000,000
所 蔵 品	157,048,500	157,048,500	0
定 期 預 金	30,000,000	10,000,000	20,000,000
基 本 財 産 合 計	190,871,807	190,871,807	0
(2) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	99,083,856	99,083,856	0
構 築 物	7,263,126	7,263,126	0
什 器 備 品	5,109,320	5,109,320	0
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,999	0
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	890,000	0
減 価 償 却 累 計 額	△100,592,703	△99,500,817	△1,091,886
電 話 加 入 権	81,140	81,140	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	21,644,738	22,736,624	△1,091,886
固 定 資 産 合 計	212,516,545	213,608,431	△1,091,886
資 産 合 計	216,816,722	220,099,495	△3,282,773
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
前 受 金	8,000,000	9,000,000	△1,000,000
預 り 金	25,262	21,218	4,044
売 店 預 り 金	263,877	246,493	17,384
流 動 負 債 合 計	8,289,139	9,267,711	△978,572
負 債 合 計	8,289,139	9,267,711	△978,572
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	208,527,583	210,831,784	△2,304,201
(内 基 本 財 産 へ の 充 当 額)	(190,871,807)	(190,871,807)	(0)
正 味 財 産 合 計	208,527,583	210,831,784	△2,304,201
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	216,816,722	220,099,495	△3,282,773

正味財産増減計算書

令和 3 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,200,200)	(1,201,000)	(Δ800)
基本財産受取利息	200,200	201,000	Δ800
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0
② 事業収益	(2,119,915)	(2,086,818)	(33,097)
入館料収入	289,150	249,200	39,950
伝習所運営収入	616,450	583,000	33,450
売店収入	1,214,315	1,254,618	Δ40,303
③ 受取補助金等	(406,000)	(606,000)	(Δ200,000)
受取地方公共団体補助金	406,000	606,000	Δ200,000
④ 受取寄付金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0
⑤ 雑収益	(688,913)	(2,134,520)	(Δ1,445,607)
受取利息	522	7,256	Δ6,734
雑収入	688,391	2,127,264	Δ1,438,873
経常収益計	5,615,028	7,228,338	Δ1,613,310
(2) 経常費用			
① 事業経費	(6,390,287)	(6,024,966)	(365,321)
給料手当	1,678,900	1,807,880	Δ128,980
臨時雇賃金	264,841	88,600	176,241
福利厚生費	280,241	283,500	Δ3,259
旅費交通費	12,900	11,400	1,500
通信運搬費	141,325	145,069	Δ3,744
減価償却費	1,001,629	1,078,188	Δ76,559
消耗品費	40,927	44,940	Δ4,013
修繕費	151,800	13,200	138,600
印刷製本費	730,400	693,000	37,400
光熱水料費	446,411	388,185	58,226
賃借料	405,943	397,827	8,116
保険料	89,411	84,983	4,428
諸謝金	60,033	55,033	5,000
雑費	545,906	512,301	33,605
広告宣伝費	44,000	22,550	21,450
研修教材費	495,620	398,310	97,310
事業経費計	6,390,287	6,024,966	365,321
② 管 理 費			
会 議 費	11,200	18,700	Δ7,500

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通 信 運 搬 費	26,823	30,983	△4,160
減 価 償 却 費	90,257	93,372	△3,115
消 耗 品 費	90,711	87,981	2,730
修 繕 費	13,200	20,350	△7,150
光 熱 水 料 費	4,549	3,339	1,210
賃 借 料	36,209	32,931	3,278
保 険 料	2,101	1,969	132
諸 謝 金	261,457	192,537	68,920
租 税 公 課	1,720	0	1,720
負 担 金	74,000	88,200	△14,200
支 払 利 息	25,600	0	25,600
雑 費	223,915	325,013	△101,098
広 告 宣 伝 費	3,300	0	3,300
管 理 費 計	865,042	895,375	△30,333
経 常 費 用 計	7,255,329	6,920,341	334,988
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,640,301	307,997	△1,948,298
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△1,640,301	307,997	△1,948,298
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△1,640,301	307,997	△1,948,298
法人税、住民税及び事業税	663,900	228,701	435,199
当期一般正味財産増減額	△2,304,201	79,296	△2,383,497
一般正味財産期首残高	210,831,784	210,752,488	79,296
一般正味財産期末残高	208,527,583	210,831,784	△2,304,201
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	208,527,583	210,831,784	△2,304,201

正味財産増減計算書内訳表

令和 3 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	収益事業等会計			公益目的事業会計	法人会計	総合計
	売店等事業	貸貸事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用利益	0	0	1,000,000	200,200	0	1,200,200
基本財産受取利息	0	0	0	200,200	0	200,200
基本財産受取貸貸料	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
② 事業収益	0	1,214,315	0	935,600	0	2,119,915
入館料収入	0	0	0	289,150	0	289,150
伝習所運営収入	0	0	0	616,450	0	616,450
売店収入	0	1,214,315	0	0	0	1,214,315
③ 受取補助金等	0	0	0	406,000	0	406,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	406,000	0	406,000
④ 受取寄付金	0	600,000	0	600,000	0	1,200,000
受取寄付金	0	600,000	0	600,000	0	1,200,000
⑤ 雑収益	0	688,938	0	0	5	688,913
受取利息	0	517	0	0	5	522
雑収入	0	688,391	0	688,391	0	688,391
経常収益計	0	2,503,223	1,000,000	2,111,800	5	5,615,028
(2) 経常費用						
① 事業経費	0	2,015,230	0	4,373,965	680	6,389,875
給料手当	0	839,450	0	839,450	0	1,678,900
臨時雇賃金	0	132,420	0	132,420	0	264,841
福利厚生費	0	140,119	0	140,122	0	280,241
旅費交通費	0	6,450	0	6,450	0	12,900
通債撤却費	0	44,075	0	44,075	0	141,325
減価償却費	0	127,656	0	127,656	0	1,001,629
消耗品費	0	3,177	0	3,177	0	40,927
修繕費	0	13,200	0	13,200	0	151,800
印刷製本費	0	455,400	0	455,400	0	730,400
光熱水料費	0	18,008	0	18,008	0	446,411
賃借料	0	36,220	0	36,220	0	405,943
保険料	0	4,368	0	4,368	0	89,411
諸謝金	0	3,337	0	3,337	0	60,033

(単位:円)

科 目	収益事業等会計			公益目的事業会計	法人会計	総合計
	売店等事業	貸貸事業	小計			
雑費	0	188,050	0	356,764	680	545,494
広告宣伝費	0	3,300	0	47,700	0	44,000
研修教材費	0	0	0	495,620	0	495,620
事業費計	0	2,015,230	0	4,373,965	680	6,389,875
② 管理費						
会議費	0	0	0	0	11,200	11,200
通債撤却費	0	0	0	0	26,823	26,823
減価償却費	0	0	0	0	90,257	90,257
消耗品費	0	0	0	0	57,215	57,215
修繕費	0	0	0	0	13,200	13,200
光熱水料費	0	0	0	0	4,549	4,549
賃借料	0	0	0	0	35,788	36,209
保険料	0	0	0	0	2,101	2,101
諸謝金	0	0	0	0	261,457	261,457
租税公課	0	0	0	0	1,720	1,720
負債利息	0	0	0	0	74,000	74,000
雑費	0	0	0	0	25,600	25,600
広告宣伝費	0	0	0	0	223,915	223,915
管理費計	0	0	0	421	831,125	831,546
経常費用計	0	2,015,230	0	4,374,386	831,865	7,221,421
評価損益等調整前当期経常増減額	0	487,993	1,000,000	1,487,993	22,262,586	21,606,393
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	487,993	1,000,000	1,487,993	22,262,586	21,606,393
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	487,993	1,000,000	1,487,993	22,262,586	21,606,393
法人税、住民税及び事業税	0	444,900	219,000	663,900	0	663,900
当期一般正味財産増減額	0	43,093	781,000	824,093	22,262,586	22,270,293
一般正味財産期首残高	0	267,337,623	2,612,956	264,724,567	214,662,663	290,216,814

科 目	収益事業等会計			公益目的事業会計	法人会計	総合計	
	売店等事業	賃貸事業	小計				
一般正味財産期末残高	0	△67,294,430	3,393,956	△63,900,474	△16,925,249	289,385,014	208,559,291
指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	0	△67,294,430	3,393,956	△63,900,474	△16,925,249	289,385,014	208,559,291

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	3,823,307	0	0	3,823,307
利付国債	20,000,000	0	20,000,000	0
所蔵品	157,048,500	0	0	157,048,500
定期預金	10,000,000	30,000,000	10,000,000	30,000,000
合計	190,871,807	30,000,000	30,000,000	190,871,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	3,823,307	0	(3,823,307)	0
所蔵品	157,048,500	0	(157,048,500)	0
定期預金	30,000,000	0	(30,000,000)	0
合計	190,871,807	(0)	(190,871,807)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	99,083,856	78,465,075	20,618,781
構築物	7,263,126	6,818,319	444,807
什器備品	5,109,320	4,609,314	500,006
建物付属設備	9,809,999	9,809,996	3
手漉和紙伝習設備	890,000	889,999	1
電話加入権	81,140	0	81,140
合計	122,237,441	100,592,703	21,644,738

5. 保証債務等の偶発債務

該当事項ありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項ありません。

7. 重要な後発事象

該当事項ありません。

8. その他

前受金を原資とする定期預金の預金利子収入は、収益事業として計上してある。

収 支 計 算 書

令和 3 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(1,200,200)	(1,200,200)	(0)	
基本財産受取利息	200,200	200,200	0	
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0	
② 事業収益	(2,250,000)	(2,119,915)	(130,085)	
入館料収入	250,000	289,150	△39,150	
伝習所運営収入	600,000	616,450	△16,450	
売店収入	1,400,000	1,214,315	185,685	
③ 受取補助金等	(406,000)	(406,000)	(0)	
受取地方公共団体補助金	406,000	406,000	0	
④ 受取寄付金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)	
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0	
⑤ 雑収益	(670,406)	(688,913)	(△18,507)	
受取利息	15	522	△507	
雑収入	670,391	688,391	△18,000	
経常収益計	5,726,606	5,615,028	111,578	
(2) 経常費用				
① 事業経費	(6,587,000)	(6,390,287)	(196,713)	
給料手当	1,680,000	1,678,900	1,100	
臨時雇賃金	300,000	264,841	35,159	
福利厚生費	285,000	280,241	4,759	
旅費交通費	17,000	12,900	4,100	
通信運搬費	150,000	141,325	8,675	
減価償却費	1,115,000	1,001,629	113,371	
消耗品費	110,000	40,927	69,073	
修繕費	180,000	151,800	28,200	
印刷製本費	800,000	730,400	69,600	
光熱水料費	400,000	446,411	△46,411	
賃借料	400,000	405,943	△5,943	
保険料	90,000	89,411	589	
諸謝金	60,000	60,033	△33	
雑費	450,000	545,906	△95,906	
広告宣伝費	50,000	44,000	6,000	
研修教材費	500,000	495,620	4,380	
事業費計	6,587,000	6,390,287	196,713	
② 管理費				
会議費	20,000	11,200	8,800	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
通 信 運 搬 費	30,000	26,823	3,177	
減 価 償 却 費	56,000	90,257	△34,257	
消 耗 品 費	60,000	90,711	△30,711	
修 繕 費	80,000	13,200	66,800	
光 熱 水 料 費	4,000	4,549	△549	
賃 借 料	60,000	36,209	23,791	
保 険 料	2,000	2,101	△101	
諸 謝 金	300,000	261,457	38,543	
租 税 公 課	4,000	1,720	2,280	
負 担 金	120,000	74,000	46,000	
支 払 利 息 費	13,000	25,600	△12,600	
雑 費	330,000	223,915	106,085	
広 告 宣 伝 費	10,000	3,300	6,700	
管 理 費 計	1,089,000	865,042	223,958	
経 常 費 用 計	7,676,000	7,255,329	420,671	
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△1,949,394	△1,640,301	△309,093	
評 価 損 益 等 計	0	0	0	
当 期 経 常 増 減 額	△1,949,394	△1,640,301	△309,093	
2 経 常 外 増 減 の 部				
(1) 経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△1,949,394	△1,640,301	△309,093	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	0	663,900	△663,900	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△1,949,394	△2,304,201	354,807	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	0	210,831,784	△210,831,784	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△1,949,394	208,527,583	△210,476,977	
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	
III 正 味 財 産 期 末 残 高	△1,949,394	208,527,583	△210,476,977	

監査報告書

公益財団法人 安部榮四郎記念館

理事長 安部信一郎 殿

令和4年 5月27日

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事 長澤広朋



公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事 白鹿綾文



私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2、監査意見

(1)事業報告の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



公益財団法人安部榮四郎記念館

令和4年第1回理事会議事録

- 1 開催日時 令和4年6月3日(金)12時~13時30分
- 2 開催場所 五幸和室 (松江市上乃木4丁目21-7)
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 6名、定足数 4名
- 4 出席理事数 6名
(本人出席) 安部信一郎 澤田暉夫 米田裕幸 安部紀正
(欠席理事) 青砥誠一 藤田彰裕
(監事出席) 長澤広朋
- 5 議案 第1号議案「令和3年度事業報告」の件
第2号議案「令和3年度決算及び財務諸表」の件
第3号議案「資産運用規程」の件
第4号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で安部理事長が定足数の充足を確認し、続いて同理事長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、安部理事長が議長となり、本会議の成立を宣し、議案の審議に移った。

議事録署名人は、定款第40条の規定にもとづき、安部信一郎理事長、長澤広朋監事とし、議案の審議に移った。

第1号議案「令和3年度事業報告」の件

第2号議案「令和3年度決算及び財務諸表」の件

理事長より資料にもとづき第1号議案ならびに第2号議案について詳細説明があった。

前年に比べ入館者が21%増加した。これは修学旅行に県外に行くかわりにいくつかの小中学校の生徒が来館したこと、感染が若干減少した秋に入館者がふえたことによる。しかしながら売店収入で予定していた収益はあげることができなかった。今年度は一時支援金、月次支援金、事業継続支援給付金を受けたが、全体として赤字決算となった。

続いて議長の求めに応じて、長澤監事より監査方法の概要及び監査意見として、財務諸表等が会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産状況を正しく示していること、事業報告の内容が事実であることが報告された。

審議の結果、第1号議案及び第2号議案のいずれも原案通り出席理事全員一致で可決承認した。



第3号議案「資産運用規程」の件

議長が次のように説明を行った。本年3月に基本財産の国債が10年の満期をむかえたので、基本財産の運用を考えなければならなくなった。これまで資産運用規程を設けていなかったが、金利が非常に低い中で少しでも安全に運用益を出せるよう運用基準の指針となる資産運用規程を設ける必要があるので資料に基づき審議願いたいと述べた。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

第4号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

議長より、以下の内容で定時評議員会を開催したいとの提案があった。

- ・日時 令和4年6月19日(日)午前10時から
- ・場所 安部榮四郎記念館
- ・議事内容
 - ・「令和3年度事業報告」の件
 - ・「令和3年度決算及び財務諸表」の件
 - ・「資産運用規程の報告」の件
 - ・その他

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

以上を持って議案の審議等を終了したので、13時30分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和4年 6月 3日

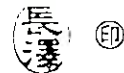
代表理事

安部信一郎



監事

長澤広朋





公益財団法人安部榮四郎記念館

令和4年度第1回定時評議員会議事録

- 1 開催日時 令和4年6月19日(日)12時～13時
- 2 開催場所 安部榮四郎記念館
- 3 評議員現在数及び定足数
現在数 6名 定足数 4名
- 4 出席評議員数 6名
(本人出席) 石原英紀 杉原登司夫 藤田 勝 野坂 裕 森山信雄
永原和男
(監事出席) 長澤廣朋 白鹿倭文
(その他出席) 安部信一郎理事長 安部紀正館長
- 5 議案 第1号議案「令和3年度事業報告」の件
第2号議案「令和3年度決算及び財務諸表」の件
第3号議案「資産運用規程の報告」の件
- 6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

安部理事長が開会のあいさつをおこなった。

続いて安部理事長が定足数の充足を確認し、本会議の議事進行及び議案資料について説明をおこなった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

安部理事長が定款第21条に基づき出席評議員の中から議長を選出するように求めた。審議の結果森山信雄評議員を議長とすることを全員一致で決定した。

森山信雄評議員が議長席につき、あらためて本会議の成立を宣し議案の審議に移った。

議事録署名人は、定款第25条にもとづき、議長である森山信雄評議員とした。

第1号議案「令和3年度事業報告」の件

第2号議案「令和3年度決算及び財務諸表」の件

議長が、第1号議案と第2号議案は関係するのであわせて審議したいとのべ、第1号議案及び第2号議案について安部理事長に説明するように求めた。

求めに応じ資料に基づき安部理事長が説明をおこなった。

続いて議長が、長澤監事に対して監査報告をおこなうよう求めた。

求めに応じ長澤監事が監査報告をおこなった。

議長が評議員に意見を求めた。

審議の結果、第1号議案及び第2号議案いずれも原案通り出席評議員全員一致承認した。

第3号議案「資産運用規程の報告」の件

続いて議長より第3号議案について安部理事長に説明するよう求めた。

求めに応じ資料に基づき安部理事長が説明を行った。

審議の結果、第3号議案について出席評議員全員一致承認した。

以上をもって議案の審議を終了したので、13時議長は閉会を宣し評議員会は終了した。

以上この議事録が正確であることを証するために、議長は記名押印する。

令和4年6月19日

議長 森山信雄

